

NEWS RELEASE



関西国際空港株式会社

経営戦略室広報グループ

TEL : 072-455-2201

FAX : 072-455-2052



KANSAI
INTERNATIONAL
AIRPORT
CO., LTD.

2007年(平成19年)6月26日

関西国際空港二期計画(案)について

限定供用後の関西国際空港二期計画につきまして、会社案をとりまとめましたので、お知らせいたします。

関西国際空港二期計画(案) 概要



2007年6月
関西国際空港株式会社

■ 関西国際空港二期計画委員会 委員

(敬称略)

委員長	岩見 宣治	(航空大学校理事長)
	上村 多恵子	(ロジスティック経営士、京南倉庫(株)代表取締役)
	黒田 勝彦	(神戸大学名誉教授、神戸市立工業高等専門学校校長)
	篠崎 由紀子	(都市生活研究所代表取締役)
	少徳 敬雄	(松下電器産業(株)顧問)
	宮本 勝浩	(関西大学大学院教授)
	森地 茂	(東京大学名誉教授、政策研究大学院大学教授)
	屋井 鉄雄	(東京工業大学大学院教授)
	山崎 朗	(中央大学教授)

(50音順)

オブザーバー：関西国際空港全体構想促進協議会事務局（大阪府）
 (社)関西経済連合会

(2007年3月時点)

計画見直しのポイント

- 1 従来の計画は旅客需要対応が中心。近年の貨物施設の急速な立地や今後の貨物需要の伸びを考慮し、二期島に貨物地区を広く確保すること。
- 2 完全24時間運用、豊富な二期用地といった関空の強みを活かし、独自性のある空港を目指すこと。
- 3 経営状況、需要動向を踏まえた重点的、段階的な整備が可能となるような柔軟な配置計画とすること。

(当社試算による関空の需要動向)

関空の国際航空貨物量

(2007年2期供用10年後の予測:2017年)

140万トン ~ 250万トン

伸び率 (4%) (10%)

関空の国際航空旅客数

(2007年2期供用10年後の予測:2017年)

1,700万人 ~ 2,000万人

伸び率 (4%) (5%)

関空の目指す空港像

日本初の
「国際貨物ハブ空港」

アジアそして世界と
関西を結ぶゲートウェイ

アジアを中心に充実した貨物ネットワークを
備えた西日本そしてアジアのゲートウェイ

企業のグローバル化、観光ビッグバンに応
える関西のゲートウェイ

複数滑走路と完全24時間化によりタイム・オ
ン・デマンドを実現した空港

東アジアを中心に細やかな利便性の高い
ネットワークを備えた空港

アジアと欧米を繋ぐ中継拠点

内際乗り継ぎに優れ、首都圏需要も補完す
る国内基幹空港

企業ロジスティクスの多様化に応える多機能
集約型物流拠点

ビジネスジェット、リージョナルジェット、
ローコストキャリアなど多様化するニーズに
対応した空港

新たなゾーニングの考え方と二期計画案

貨物地区

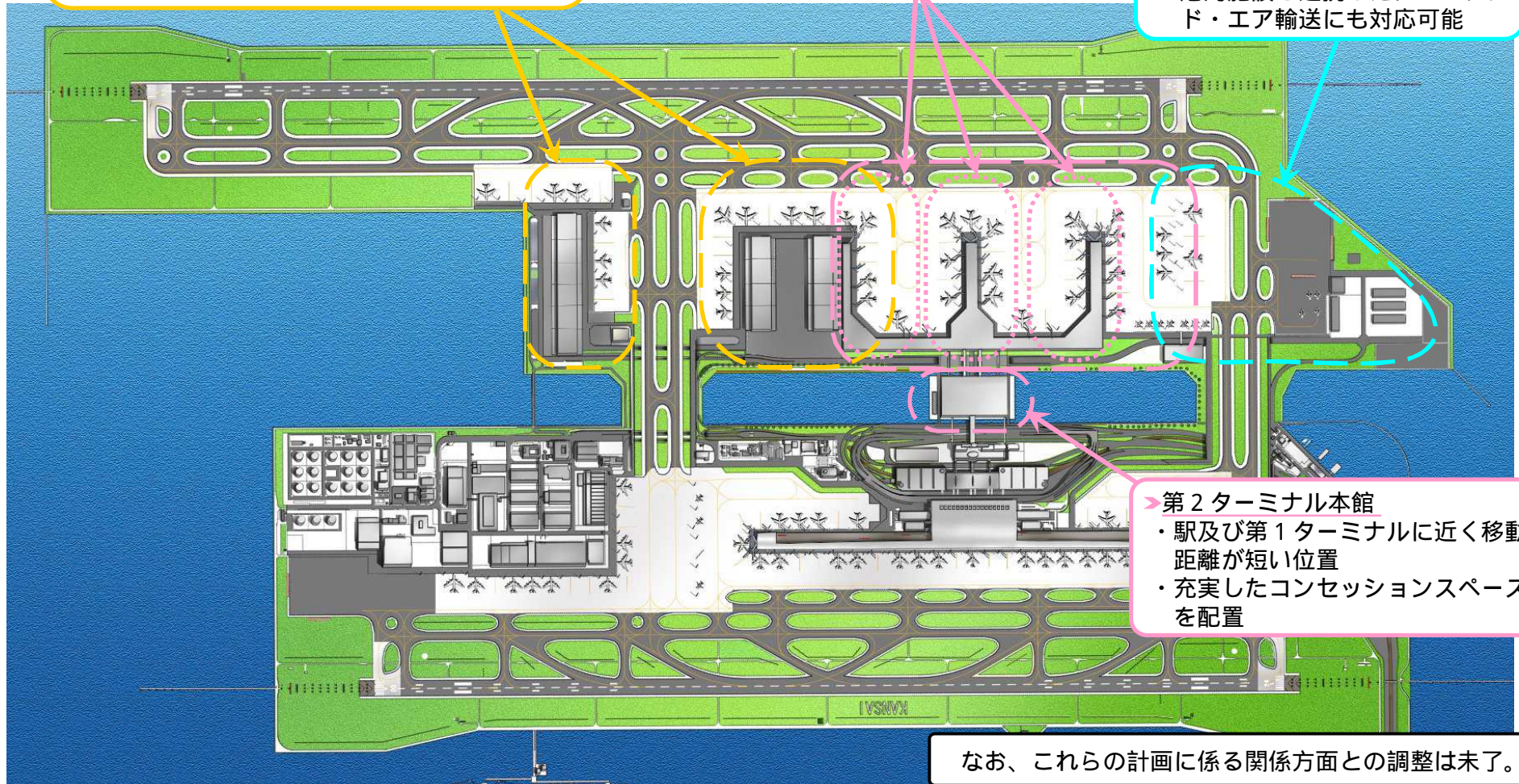
- ・一、二期货物地区の一体的な運用を図るため二期島南側に集約
- ・旺盛な貨物輸送需要に対応する十分な駐機場
- ・駐機場に面した貨物上屋を配置

旅客地区

- ・旅客需要に応じて段階的に展開し易いウィング形状
- ・多様なエアラインニーズにも柔軟に対応

多様なニーズに対応する地区

- ・ビジネスジェット、ローコストキャリア等のための独立した施設ニーズに対応
- ・港湾施設と連携したシー・アンド・エア輸送にも対応可能



第2ターミナル本館

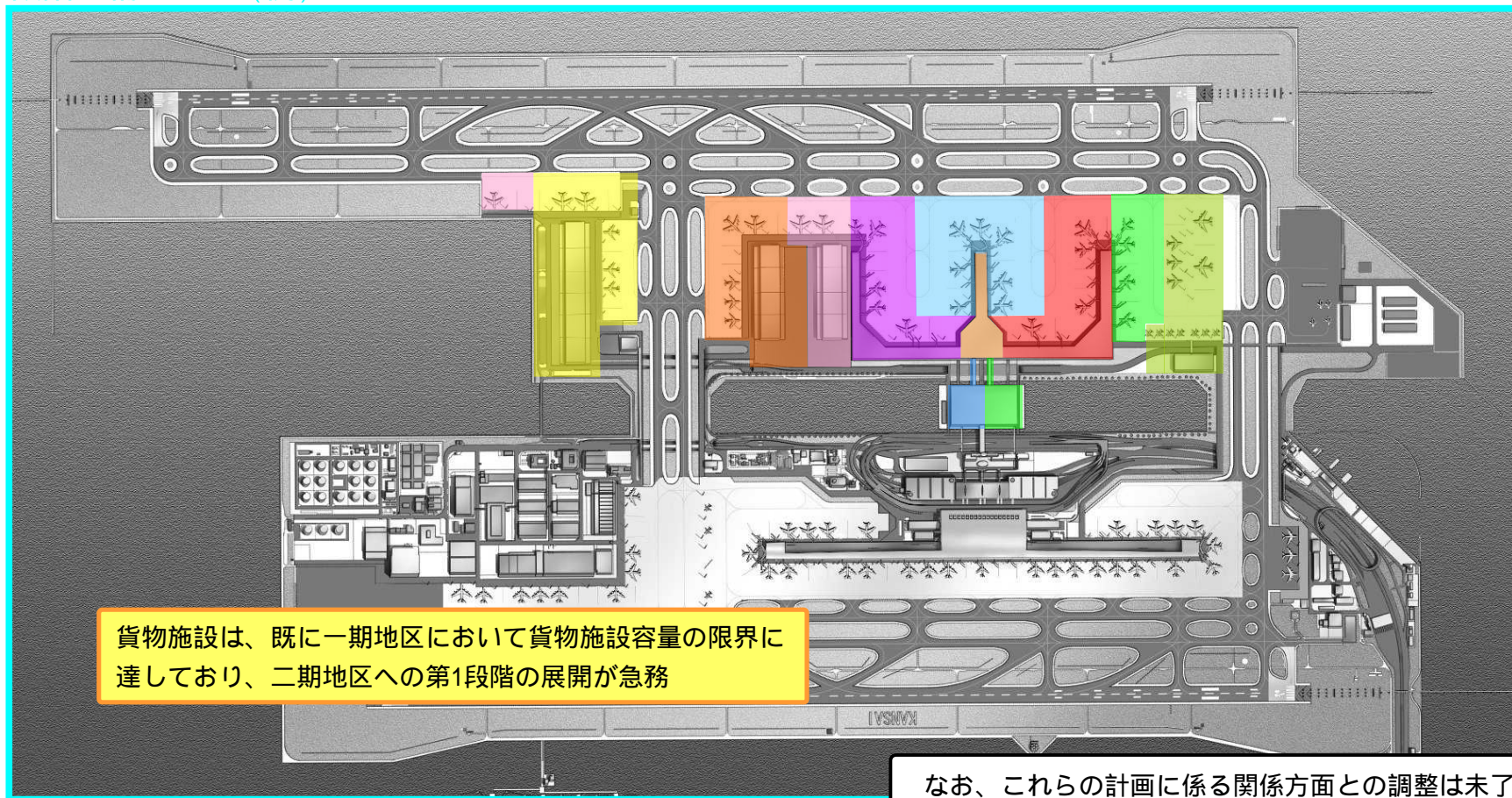
- ・駅及び第1ターミナルに近く移動距離が短い位置
- ・充実したコンセッションスペースを配置

なお、これらの計画に係る関係方面との調整は未了。

段階整備計画

良好なサービス・レベルを維持するため、**需要に応じ、適時に適切な規模の上物施設を展開**
 施設整備のリードタイムを考慮して展開の着手を判断
 時機を逸することのない下物(用地造成)の計画的整備の完了が前提

段階整備イメージ(例)



- | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 貨物施設 | 第1段階 | 第2段階 | 第3段階 | | | | |
| 旅客施設 | 第1段階 | 第2段階 | 第3段階 | 第4段階 | 第5段階 | 第6段階 | 第7段階 |